

イベント・その他講座のご案内



イベント予定

決まり次第ご案内いたします



特別講座の予定

決まり次第ご案内いたします。

あとかき

▶ 田んぼに水が張られるこの時期は好きな季節の一つです。穏やかなちょっと風のある日に畦道を散歩するのがとても気持ちいいからです。湿った風に包まれると、乾燥していた植物が水を得てイキイキと甦るような、そんな気持ちになります。▶ 夕方になると響き渡るカエルの大合唱もいいものですね。この辺りではすっかりそんな場所はなくなりましたが、子供の頃(40年前)は田んぼと畑だけでした。それが当たり前だと思っていたのです。▶ 教室の左手には大きな堤があり、牛蛙がうなるようにゲー、ゲーと始終泣いていたのも思い出します。夕方はさらにこの鳴き声があたりに響き渡り、怖くて一人では近寄ることができませんでした。そんな夜道も梅雨の後半にはすっかり忘れ子供らで連れ立って蛍狩りをしたものです。▶ 先日からの長雨で畑仕事は滞りましたが、植え付けたばかりの夏野菜には恵の雨だった様です。

営業時間(ご予約・ご変更は 0120-973-154 まで、お早めにご連絡下さい。)

水・金： AM8:50~PM 8:00

月・木・土： AM8:50~PM 5:00

日： AM8:50~AM12:10 (休み：火・祝日)

URL： <http://dekirupc.com/> e-mail： takasaki@dekirupc.com

住所：〒985-0862 多賀城市高崎2丁目28番1号



教室開業16周年！感謝をこめて会報をお届けします。

ほのぼの通信

6月号 (131号)

平成29年5月18日 発行



ありがとうございます！

年に一度は教室を離れ勉強会に参加します。日本全国からパソコン教室の関係者が集まり、事例を発表したり、討論したり、情報交換するのです。わずかな時間ですがこれをきっかけに大きく躍進する教室もあります。

毎年、取り上げられるテーマは変わり、様々ですが今年は「プログラミング」が話題に上りました。プログラミング教育が2020年から小学校でも必修化されることになったからです。すでに中学校では平成24年度から必修項目となっています。

ではなぜプログラミング教育が求められているのでしょうか。教育目標としては論理的思考や問題解決力の育成があるからなのですが、実はそれだけではなく、その背景に社会的なIT系人材不足があげられます。つまりプログラマーが不足してきているのです。IoTが浸透する近い将来はそれがさらに深刻化すると予測されているのです。

これは何を意味しているのでしょうか？私はプログラミング能力が一部の専門家だけでは広く「読み、書き、そろばん」同様に、すべての人々に求められる時代がそこまで来ているのだと感じています。読み書き同様、情報機器を使えるだけではなく、活用する能力が求められています。

だいじょうぶですよ！



なんでもご質問ください。「まだエクセルを習っていないけれど、作りたい書類がある。」とか「インターネットで調べたいことがある。」、「タブレットをちょっとだけ触ってみたい。」など。ご受講中の講座以外の内容でもご遠慮なくご質問ください。

ただ、私もわからない、できないことはたくさんあります。できないことはできるかどうか確認したり、準備したりする必要があります。その準備のためにお時間をいただくことがあります。なんでもといっても日々の講習内ではお応えできないことももちろんありますから、お断りさせていただくことも残念ながらございます。

お時間をいただいたり、できないことはできる方法をご提案させていただいたり、まだ無理がある場合でもできるかぎりご説明だけはさせていただきますので、どうぞ何なりとご質問ください。

ただ書類が必要なだけで、覚えたいわけではないということもあると思います。そんな時は別途有料となりますが作成依頼も承りますのでご遠慮なくお早めにご相談ください。お見積もりもさせていただきます。

教室は何のためにあるのか日々自問自答します。その答えはたくさんあるのですが、突き詰めて行くとお客様の「できるようにになりたい。」、「理解したい。」というご希望をかなえてさし上げる場所なんだと考えています。そのお手伝いができなければ教室の存在意義はありません。

ワンポイント講座



ランサムウェアをご存知ですか？先週末に世界中で被害が続出して話題にもなりましたので、ご存知の方もいらっしゃると思います。ランサムウェアとは、感染したPCをロックしたり、ファイルを暗号化したりすることによって使用不能にしたのち、元に戻すことと引き換えに「身代金」を要求する不正プログラムです。身代金要求型不正プログラムとも呼ばれます。(トレンドマイクロ社)

個人のパソコンがこのような被害に遭われた場合はあらかじめしまわれるかもしれませんが、企業の場合は業務で日々使用しているデータが参照できなくなれば仕事が滞ってしまうため、その損失と要求額を天秤にかけて身代金を支払うことになってしまうことがあるそうです。なんと支払額は数千万円にもなることがあるようです。

ではこうした不正ソフトによる被害に遭わないようにするための対策(個人の対策です。企業のセキュリティー対策はこれだけではありません。)はいつも決まっているのです。①OSのアップデートをする。②サポート期限の過ぎたOSは使用しない。③不審なメールの添付ファイルは開かない。④セキュリティーソフトを入れる。⑤製造元の明らかなもの以外はソフトなどをダウンロードしない。などがあげられます。どれもこれも繰り返し言われていることなのですが被害に遭った方の多くは「私には関係がない。」と考えているようです。また完璧に対策することは非常に難しいのも現実です。最悪の備えはシステムのバックアップです。